「第６回おでかけ交通博 2019in はちのへ」を開催しました！

（東北運輸局）

東北運輸局交通政策部交通企画課では、令和元年 10 月 18 日（金）に八戸グランドホテルにおいて「第６回おでかけ交通博 2019in はちのへ～みんなで「おでかけの足」を考えませんか～」を開催しました。（共催：八戸市　協力：福島大学）

「おでかけ交通博」は、主に地方公共団体の交通担当者や交通事業者を対象として、喫緊の課題である地域の「おでかけの足」について考えるきっかけとするべく平成 27 年より開始し、今回で６回目（過去開催は福島、弘前、山形、北上、秋田）の開催となり、約 160 名の方に参加いただきました。

午前中は「トークセッション with 東北仕事人」と称し、開催地域の交通やまちづくりに携わる方達と有識者にご登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。福島大学・吉田准教授にコーディネーターを務めていただき、パネリストとして、開催地からは共催の八戸市役所と DMO である一般財団法人 VISIT はちのへ、また同じ八戸圏域市町村から五戸町役場と階上町役場、そして東北地方で活躍されている有識者で「地域公共交通東北仕事人」である NPO 法人岩手地域づくり支援センターの若菜氏よりご発言をいただきました。

【パネルディスカッションの様子】

午後には自治体や交通事業者などの 22 団体に出展いただき、ポスターセッションを実施しました。各団体から１分間で取組を PR していただき、その後、取組をまとめたポスターや資料により、それぞれの取組について説明いただきました。参加者は興味関心のある団体の取組について、担当者より詳細を伺いながら意見交換を行いました。

【ポスターセッションの様子】

また、翌日 19 日（土）にはエクスカーションを開催し、希望者で企画乗車券「みんなで八戸 1Ｄａｙパス」を活用した八戸市内の視察を行いました。あいにくの雨により当初の予定を変更しながらの行程となりましたが、八戸まちなか広場マチニワを八戸市営バスで出発し、陸奥湊地区では八戸市営魚菜小売市場などを視察、最終的には JR 八戸線から八食 100 円バス（南部バス）を乗り継ぎ、八食センターで解散となりました。

【視察で立ち寄った八戸市営魚菜小売市場】

【JR 八戸駅から八食センターへ】

今年も多数の方に参加いただきました。次年度以降においても、地域の交通への取組を後押しする機会を提供していきます。

◎おまけ

天候不良によりエクスカーションで視察できなかった視察先をちょっとご紹介します。

【三陸復興国立公園・種差海岸】

波打ち際まで敷き詰められている天然の芝生「種差天然芝生地」は、種差海岸を代表する景観の１つです。また、同海岸沿いにはウミネコの繁殖地として国の天然記念物に指定されている「蕪島」があり、その頂上には商売繁盛、漁業安全の守り神として信仰されている「蕪嶋神社」があります。（蕪嶋神社は現在再建工事中ですが、2020 年 3 月頃に完成予定）

当初の予定では、八戸市営バスの「ワンコインバス　うみねこ号」が JR 八戸線の鮫駅～種差海岸駅間を海岸沿いに運行しており、こちらを活用して鮫駅前から種差海岸インフォメーションセンターまで移動し、周辺の視察を行う予定でした。

今回は残念ながら種差海岸には現地視察として訪れることができませんでしたが、もし青森県八戸市を訪れる機会がありましたら、ぜひ公共交通を使った周遊をお楽しみください！

種差天然芝生地

蕪嶋神社（工事中）

ワンコインバスうみねこ号